

アート・リサーチセンター活動記録

2007年度 (2008年1月～3月)

■GCOEセミナー (1月)

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

1月15日

濱田裕司 (本拠点研究員) 「デジタル映像での伝統文化保存 ～そのワークフローとハイビジョン化に向けた今後の展開～」

関口博之 (立命館大学COE推進機構准教授) 「知的診断支援～人体データ・診断手法のデジタルアーカイビングとその応用」

1月22日

斎藤進也 (本拠点研究支援者) 「協調的なナラティブの蓄積による日本文化アーカイブの構築」

尾鼻崇 (本拠点日本学術振興会特別研究員) 「テレビゲーム音楽の研究－その構想と展望－」

■「京都 vs. 江戸 ～描かれた京都と江戸を読み解く～」

2008年3月1日(土)～2日(日) 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

オーガナイザー：松本郁代 (立命館大学)・出光佐千子 (出光美術館)

主催：立命館大学グローバルCOE日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点

「洛中洛外図屏風の総合的アーカイブと都市風俗の変遷」プロジェクト

2008年度 (2008年4月～12月)

■GCOEセミナー (4月)

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

4月8日

エリス・ティニオス (英・リーズ大学名誉教授) 「絵本のディアスポラ 海を渡った江戸絵本、1830-2008」

4月15日

海外におけるデジタル・ヒューマニティーズの動向

赤間亮 (本拠点「日本文化研究班」リーダー) 「GloPAC・大英博物館など」

古川耕平 (本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」事業推進担当者) 「歌舞伎劇場のデジタル復原」

4月22日

源城政好 (本拠点「京都文化研究班」特別研究員)、金子貴昭 (本拠点「日本文化研究班」RA1)

「藤井永観文庫の紹介とデジタル・アーカイブの報告」

■GCOEセミナー番外編 ランチタイムセミナー

2008年4月22日(火) 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

Chun-Yang Chen (Academia Sinica, Taiwan) 「How to get published by playing games?」

■立命館大学 学内向けGIS講習会 -学内ならどこでも使えるArcGIS9.2の初級講習会-

2008年4月26日(土) 立命館大学 清心館2階526情報教室

共催:文学部地理学教室44

文部科学省学術フロンティア推進事業「文化遺産と芸術作品を自然災害から防御するための学理の構築」

文部科学省グローバルCOE「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」

■GCOEセミナー(5月)

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

5月13日

上田学(本拠点「京都文化研究班」RA)、大矢敦子(本拠点「京都文化研究班」RA)「大正期京都の映画興行研究 -映画プログラムデータベースの活用と展望-」

5月20日

岡本隆明(本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー)「古文書・典籍を対象とした文字管理システムの紹介と今後の計画」

稲葉光行(本拠点「Web活用技術研究班」事業推進担当者)、斎藤進也(同ポストドクトラルフェロー)「地域の知を集める-協調的ナラティブの蓄積による日本文化アーカイブの構築」

5月27日

花田卓司(本拠点「京都文化研究班」RA)「京都における南北朝期の合戦」

楠井清文(本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー)「外地日本語文学雑誌データベースについて」

■第78回人文科学とコンピュータ研究会発表会

2008年5月23日(金) 立命館大学

特集セッション「『日本文化デジタル・ヒューマニティーズ』とその展開」

主催:情報処理学会「人文科学とコンピュータ研究会」

共催:立命館大学・グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」

■GCOEセミナー(6月)

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

6月3日

Ian Gregory (Lancaster University)「Using GIS to understand space and time in the Digital Humanities」

6月10日

崔雄(本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」ポストドクトラルフェロー)「モーションキャプチャと生体情報の同時計測による舞踊動作の定量化」

王曉光(本拠点「Web活用技術研究班」ポストドクトラルフェロー)「Social Network Analysis and Its Application on Digital Humanities -Informal Communication Analysis in Scholarly Blogging Communities」

6月17日

尹新（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」ポストドクトラルフェロー）「板木の仮想印刷と表現」

※日本文化研究班版木研究会との共同企画

6月24日

鄭銀珍（本拠点「京都文化研究班」RA）「乾山焼研究と資料のデータベース化」

木立雅朗（本拠点「京都文化研究班」事業推進担当者）「友禅染と西陣織の図案」

■2008年度春期連続講演会第1回「表現される身体／見られる身体～同時代の舞踊（コンテンポラリー・ダンス）の味わい方」

2008年6月16日（月）立命館大学 末川記念会館 講義室

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

講師：上念省三（舞踊評論家）

■2008年度春期連続講演会第2回「メカニックデザインとは？」

2008年6月16日（月）立命館大学 以学館2号ホール（非公開）

講師：大河原邦男（メカニックデザイナー）

■GCOEセミナー番外編 ランチタイムセミナー

2008年6月24日（火）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

Ken Coates (University of Waterloo, Ontario, Canada) 「Digital Depth: The Role of the Humanities in the Digital Revolution.」

■2008年度春期連続講演会第3回「最近の春画研究—日本と外国」

2008年6月27日（金）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

講師：アンドリュー・ガーストル（ロンドン大学教授）

■GCOEセミナー（7月）

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

7月1日

上村雅之（本拠点「Web活用技術研究班」事業推進担当者）、尾鼻崇（同ポストドクトラルフェロー）
「遊戯としてのビデオゲームの研究」

7月8日

近藤暁夫（本拠点「歴史地理情報研究班」RA）「資本主義経済導入期の京都における地代と土地利用—GISを用いた土地利用1筆水準でのチューネンモデルの再検討—」

戸所泰子（本拠点「歴史地理情報研究班」RA）「京都の祇園祭をめぐる新町通の景観復原」

7月15日

本多健一（本拠点「歴史地理情報研究班」RA）「近世の民俗行事・芸能からみた地域間の結合関係—京都六斎念仏の歴史地理学的研究—」

桐村喬（本拠点「歴史地理情報研究班」RA）「地図情報のカタログサイトの開発 -実装機能の検討-

7月22日

塚本章宏（本拠点「歴史地理情報研究班」RA）「大正期京都における「遊客」の属性とその空間的特性 -『遊客人名帳』を用いた宮川町の事例分析-

石上阿希（本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー）「ホノルル美術館レインコレクションの調査及び公開」

7月29日

日本文化デジタル・ヒューマニティーズ教育プログラム」履修生特集

高橋幸恵（学外履修生）「能の稽古における第二次口頭性手段の有効性と課題」

吉田真澄（立命館大学大学院文学研究科M1）「平安貴族の移動からみた平安京」

中尾美貴子（立命館大学大学院文学研究科M1）「GISを用いた古代史研究の試み」

■2008年度春期連続講演会第4回「二十世紀後半における和歌の英訳」

2008年7月4日（金）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

講師：ジョシュア・モストウ氏（ブリティッシュ・コロンビア大学教授）

■GCOEセミナー番外編 ランチャイムセミナー

2008年7月24日（木）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

Ruslan Rainis（マレーシア科学大学教授）「The Development of GIS Applications for Social Sciences and Humanities in Malaysia: Current Status, Issues and Prospects」

■GIS Day in 関西2008 これからの地理空間情報の楽しみ方

2008年8月29日（金）立命館大学 創思館カンファレンスルーム、有心館情報教室

主催：立命館大学歴史都市防災研究センター

立命館大学アート・リサーチセンター

立命館大学文学部地理学教室

■GCOEセミナー番外編「近代化遺産をとおしてみる京都」

2008年9月2日（火）立命館大学歴史都市防災センター カンファレンスルーム

講師：玉田浩之（本拠点「歴史地理情報研究班」客員研究員／京都工芸繊維大学大学院ベンチャーラボラトリー研究員）

■GCOEセミナー（10月）

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

10月7日

當山日出夫（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」客員研究員）「現代日本の人文情報学とデジタルアーカイブについて」

稲葉光行（本拠点「Web活用技術研究班」事業推進担当者）「デジタル・ヒューマニティーズ研究の

トレンド～Digital Humanities 2008 参加報告」

10月14日

前田亮（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」事業推進担当者）「イギリスにおけるデジタル・ヒューマニティーズの研究動向 - ロンドン大学キングスカレッジ訪問およびDRHA08参加報告 -」
八村広三郎（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」事業推進担当者）「北米におけるデジタルヒューマニティーズの現状」

10月21日

大野晋（本拠点「Web活用技術研究班」RA1）「時系列情報の組み合わせに関する研究」
勝村文子（本拠点「歴史地理情報研究班」ポストドクトラルフェロー）「日本国内におけるアートプロジェクトを通じた地域文化創造の可能性」

10月28日

鶴田清也（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」RA2）「バーチャルダンスコラボレーションシステムのための音楽からの感性情報抽出に関する基礎研究」
尹新（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」ポストドクトラルフェロー）「皮膚触覚提示可能な文化財展示システムの開発」

■シンポジウム「『源氏物語』の読み方-学際的視野から-」

2008年10月11日（土）立命館大学 敬学館 地下大教室210号

今西祐一郎（九州大学教授）「源氏物語研究の新展開 - データベース化の意義 -」
中西健治（立命館大学教授）「源氏物語の隠れた読み巧者 - 北村湖春の人と仕事 -」
井上満郎（京都産業大学教授・京都市歴史資料館館長）「源氏物語の国際的背景 - 「大和魂」の成立」
佐古愛己（立命館大学准教授）、上島理恵子（立命館大学グローバルCOE共同研究者）「源氏物語の時代 - 人と文物、デジタル可視化の意義 -」
司会：杉橋隆夫（立命館大学教授・本拠点事業推進担当者）
主催：文部科学省グローバルCOEプログラム「日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点」（立命館大学）
共催：立命館大学教育文化事業部、立命館大学文学部校友会

■GCOEセミナー番外編「米国歴代大統領の就任演説にみる言語変異 - 多変量文体分析モデルによるテキストマイニング -」

2008年10月31日（火）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講師：田畑智司（大阪大学大学院言語文化研究科言語文化専攻准教授）

■GCOEセミナー（11月）

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

11月4日

特別セミナー「デジタル化以前に考えなければならないこと - 人文科学は何に基づいて研究するのか -」
講師：明星聖子（埼玉大学）

11月11日

周萍（本拠点「日本文化研究班」RA1）「中国における日本文化研究事情」

岡本隆明（本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー）「古文書・典籍を対象とする文字管理システムを使用した訓点の整理について」

11月18日

桐村喬（本拠点「歴史地理情報研究班」RA3）「地図情報のカタログサイトの開発 - 空間検索・分析機能の実装 -」

花田卓司（本拠点「京都文化研究班」RA2）「南北朝期の京都合戦 - 軍事関係文書と軍記物語から -」

11月25日

本多健一（本拠点「歴史地理情報研究班」RA2）「中世後期の京都今宮祭に関する基礎的考察」

金子貴昭（本拠点「日本文化研究班」RA1）「版本資料のデジタル・アーカイブについて」

■2008年度秋期連続講演会第1回「エチオピア民族舞踊団公演」

2008年11月4日（火）立命館大学 創思館カンファレンスルーム

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

招聘元：社団法人エチオピア協会

後援・協力：エチオピア大使館

■2008年度秋期連続講演会第2回「音楽からみた古典芸能ワークショップ その1「歌舞伎音楽」-顔見世を見に行く前のワンポイント講座-

2008年11月20日（木）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

出演：中村寿慶（解説・鳴物）、藤舎悦芳（鳴物）、藤舎葦生（笛方）杵屋浩基（三味線）、今藤敏行（三味線）

司会：赤間亮（立命館大学文学研究科教授）

主催：立命館大学アート・リサーチセンター

■GCOEセミナー番外編「ヴィクトリア&アルバート博物館における日本 - コレクションの収集と記録 -」

2008年11月27日（木）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講師：Gregory Irvine（Victoria and Albert Museum / 立命館大学アート・リサーチセンター訪問研究者）

■極め札展

2008年12月1日（月）～12日（金）立命館大学アート・リサーチセンター 展示室

主催：立命館大学グローバルCOE日本文化デジタル・ヒューマニティーズ拠点「洛中洛外図屏風の総合的アーカイブと都市風俗の変遷」プロジェクト

■GCOEセミナー（12月）

毎週火曜日 立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

12月2日

石上阿希（本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー）「在外艷本の調査 -大英博物館及びボストン美術館-」

崔雄（本拠点「デジタルアーカイブ技術研究班」ポストドクトラルフェロー）「モーションキャプチャを用いた居合道の熟練度に関する定量化」

12月9日

齊藤ちせ（本拠点「日本文化研究班」RA1）「日本文化・芸術研究における学術ポータルサイトの現状分析 -Webで提供されている研究ツールとして-」

楠井清文（本拠点「日本文化研究班」ポストドクトラルフェロー）「植民地期「朝鮮」文学雑誌データベースの構築と課題」

12月16日

John Carpenter（本拠点「日本文化研究班」事業推進担当者）「美術としてのカリグラフィー -中世-」

12月23日

上田学（本拠点「京都文化研究班」RA2）「常設館出現期の京都における映画興行の様相」

斎藤進也（本拠点「Web活用技術研究班」ポストドクトラルフェロー）「地層モデリングによるナラティブ情報の可視化と解釈」

■GCOEセミナー番外編「“バーバラ・カーティス・足立文楽コレクション”のアーカイブ手法と今後の展開 -コロンビア大学東アジア図書館でのアーカイブ事例-」

2008年12月4日（木）インターネット（Power Live）中継

講師：カグノ 太田麻衣子（コロンビア大学東アジア図書館・アーキビスト）

■2008年度秋期連続講演会第3回「音楽からみた古典芸能ワークショップ その2「能楽の囃子」-小鼓と謡の世界-」

2008年12月13日（土）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講師：味方玄（観世流シテ方）・吉阪一郎（大倉流小鼓方）

■GCOEセミナー番外編「シリーズ・DHの可能性を考える『壺中の天 -デジタル環境下における国文学（研究手法）の孤独』」

2008年12月18日（木）立命館大学アート・リサーチセンター 多目的ルーム

講師：高木元（千葉大学文学部教授）